



まちだ健康づくり推進プラン  
(第5次町田市保健医療計画) (素案)  
パブリックコメント実施結果

保健所保健総務課

2018年1月

## まちだ健康づくり推進プラン（第5次町田市保健医療計画）（素案） パブリックコメント実施結果

「まちだ健康づくり推進プラン（第5次町田市保健医療計画）」の策定にあたり、下記のとおり意見を募集いたしました。貴重なご意見をお寄せいただきありがとうございました。ご意見は本計画の策定および今後の市政の参考にさせていただきます。

- 1 募集期間  
2017年10月2日～2017年10月31日
- 2 意見の募集方法  
町田市ホームページへの資料掲載の他、公共施設で資料の閲覧・配布を行いました。
- 3 お寄せいただいた意見の内訳  
7名の方から24件のご意見をお寄せいただきました。
- 4 寄せられたご意見の内訳

項目	件数
計画書について	4件
施策について	/
健康づくり意識の向上について	2件
自殺予防、ひきこもり支援等について	3件
身体活動量、運動量の向上について	3件
食生活・食の安全について	4件
受動喫煙対策について	2件
がん予防について	1件
子育て支援について	1件
医療について	2件
その他	2件
合計	24件

## 5 ご意見の概要と市の考え方

とりまとめの都合上、いただいたご意見は要約し掲載しています。また、同様のご意見は集約しています。

### ◆計画書について

No.	ご意見の概要	市の考え方
1	この計画について、もっと広報活動する必要がある。(同様 他2件)	ご指摘のとおり、積極的に広報活動してまいります。
2	資料編に昨年度(2016年度)のデータがあってもよいのではないか。	ご指摘のとおり、可能な限り2016年度のデータを掲載してまいります。

### ◆施策について

No.	ご意見の概要	市の考え方
1	【健康づくり意識の向上】 第4次計画で目標を達成できなかった「意識的に運動をしている人の割合」を新しい計画の成果目標に加え、割合を増やす努力が必要。	本計画におきましては、「運動習慣者の割合」を成果目標に設定しております。この成果目標の達成に向けて取り組んでまいります。
2	【健康づくり意識の向上】 産業保健と連携した事業(働き盛りを対象とした事業)を新たに行うことになっています。働き盛りの世代は、仕事を理由にして、健康づくりをおろそかにする傾向があります。この取組みを推進し、成果を上げてもらいたい。	働き盛りに限らず、自主的に健康づくりできるよう普及啓発に取り組んでまいります。
3	【自殺予防、ひきこもり支援等】 第4次計画でも目標が達成できなかった「身近な相談者がいる人の割合」を成果目標としていますが、どうしてそのような結果になるのか、分析をおこなって自殺者が出ない社会を作ってほしい。	因果関係を分析することは難しいと考えますが、引き続き、自殺対策に取り組んでまいります。

4	<p>【自殺予防、ひきこもり支援等】 労働者に対するストレスチェックが義務化されたが、企業等ではたっていない（自営業や専業主婦など）のストレスチェックはどうするのか。</p>	<p>関係部署、関係機関と連携し、対応してまいります。</p>
5	<p>【自殺予防、ひきこもり支援等】 孤立を防ぐための施策も取り組みが示されています。同時に独居老人への対策も追加してはどうか。</p>	<p>関係部署、関係機関と連携し、対応してまいります。</p>
6	<p>【身体活動量、運動量の向上】 「ロコモティブシンドロームの認知度」を32.6%から80%まで引き上げる施策が載っています。健康づくりには、現状を把握することがとても重要であるため、ロコモティブシンドロームやフレイルについて、その状態や意味を正しく理解できるような啓発活動をしてもらいたい。</p>	<p>ロコモティブシンドロームやフレイルをはじめ、正しい健康情報をわかりやすく普及啓発してまいります。</p>
7	<p>【身体活動量、運動量の向上】 生活習慣病の予防には、若い世代からの取り組みが必要であると思います。若い世代に対する啓発事業が必要である。</p>	<p>若い世代に限らず、自主的に健康づくりできるよう普及啓発に取り組んでまいります。</p>
8	<p>【身体活動量、運動量の向上】 高齢者が自主的に継続して活躍できる取組みを推進してもらいたい。</p>	<p>高齢者に限らず、自主的に健康づくりできるよう普及啓発に取り組んでまいります。</p>
9	<p>【食生活・食の安全】 “健康づくりの基礎は食生活にあり”、そのベースとなる減塩を意識した取りくみをあらゆる機会を通じて全市民（特に、子供や働き盛りの世代）にしっかりと啓発してもらいたい。</p>	<p>働き盛り世代に向けた健康教育事業（減塩等の講習会）を年間通して実施しております。 今後も食生活改善の普及啓発に取り組んでまいります。</p>

10	<p><b>【食生活・食の安全】</b> 食の取組みの中心になっている保健所、栄養士会、消費生活センターなどが一体となって、さらなる取組みの強化策をお願いしたい。 (同様 他1件)</p>	<p>栄養士会や消費生活センターをはじめ関係機関と連携し食に対する取組みを行ってまいります。</p>
11	<p><b>【食生活・食の安全】</b> 食の安全の問題について、広く市民に啓発してもらいたい。</p>	<p>情報紙の発行や講習会を通じて積極的に普及啓発してまいります。</p>
12	<p><b>【受動喫煙対策】</b> 「子供のいる場所でたばこを吸わないようにしている人の割合」が成果目標にあります。が、駅周辺に設置されている喫煙所や、飲食店での喫煙など、たばこの被害は後を絶ちません。たばこへの対策については積極的な取組みをお願いします。</p>	<p>関係部署、関係機関と連携し、対応してまいります。</p>
13	<p><b>【受動喫煙対策】</b> 「子供のいる場所でたばこを吸わないようにしている人の割合」のほかに、妊婦に対する受動喫煙の影響についても啓発する必要がある。</p>	<p>受動喫煙の影響について、子どもと同様に妊婦についても、引き続き積極的に普及啓発してまいります。</p>
14	<p><b>【がん予防】</b> がん予防やがん医療の取組みの推進をお願いしたい。</p>	<p>関係機関と連携し、がんの予防や早期発見・早期治療に繋がる取組みを推進してまいります。</p>
15	<p><b>【子育て支援】</b> 「子育て包括支援センター」についても記載する必要がある。</p>	<p>計画書への記載はしませんが、「子育て包括支援センター」としての機能を充実させ、関係機関との連携により、適切な支援が受けられるようにしてまいります。</p>
16	<p><b>【医療】</b> 大人の休日救急は輪番制のため、毎回広報を見て確認するのが面倒。子どものように同じ場所でセンター化してもらいたい。</p>	<p>休日・準夜急患こどもクリニックを行っている健康福祉会館では十分な広さを確保することが難しく、また、代替施設の確保も困難なため、今後の参考とさせていただきます。</p>

17	<p>【医療】</p> <p>今回の計画では、救急受診ガイドの普及や、救急に関する普及についての施策はありますが、病院を増やす計画がない。</p>	<p>病床数は、地域（二次保健医療圏）の人口等に基づき東京都が定めているため、市が病床や病院を増やす計画を策定することはできません。</p>
----	---	--

◆その他

No.	ご意見の概要	市の考え方
1	<p>保健所と健康福社会館とどちらに行っているのか、迷うことがある。</p>	<p>保健所中町庁舎と健康福社会館について、違いがわかるよう周知徹底いたします。</p> <p>また、「町田市公共施設再編計画」を踏まえ、保健所中町庁舎と健康福社会館の集約について検討してまいります。</p>
2	<p>体育館等の施設が市中心部に集中しています。小山相原地区にも必要である。</p>	<p>関係部署にも周知し、今後の参考とさせていただきます。</p>